



## 文献調査実施についての国からの申し入れに対し、 玄海町長が受け入れを表明されました

佐賀県玄海町では、町内の3団体（旅館組合、飲食業組合、防災対策協議会）から町議会への文献調査受け入れを求める請願提出がなされ、審議の結果、賛成多数で採択されました。

このような状況を踏まえ、5月1日に国は、玄海町長に対し文献調査の実施を求める申し入れを行い、5月10日に脇山玄海町長が申し入れの受け入れを表明されました。玄海町で調査が開始されると、全国で3カ所目となります。

地域の皆さまには地層処分事業と文献調査にご関心をお持ちいただき、町議会において議論を重ねていただいた上で、脇山町長より前向きなご判断をいただいたことに、心から敬意と感謝の意を表します。

特定放射性廃棄物の最終処分は、日本社会全体で必ず解決しなければならない重要な課題です。NUMOは、最終処分という課題に取り組む上で、全国のできるだけ多くの地域に文献調査を受け入れていただきたいと考えています。玄海町で文献調査にご協力いただけることは、大変ありがたいことです。

NUMOは、最終処分や文献調査に関する地域の皆さまのご関心やご疑問、ご不安にお応えし、議論を深めていただけるよう、玄海町に全面的に協力し、情報提供等を丁寧に進めてまいります。

### ● 主な経緯

4/15	文献調査受け入れを求める請願について、議会在原子力対策特別委員会に審査を付託
4/17	同委員会にて請願について審議
4/25	同委員会にて請願書について審議および採択
4/26	町議会本会議にて3件の請願を採択（賛成6名、反対3名の賛成多数）
5/1	経済産業大臣から玄海町長に対して文献調査の実施を求める申し入れ
5/10	町議会全員協議会を経て玄海町長が文献調査の申し入れの受け入れを表明



### ● 玄海町の概要

地勢と町域 : 東西約7km、南北9km、  
総面積35.92km<sup>2</sup>  
人口と世帯数 : 4,908人、1,900世帯  
(2024年3月31日現在)  
産業別就業人口の割合 :  
第1次産業 21%、第2次産業 25%、  
第3次産業 53% (2020年国勢調査)

## 進捗報告 国・NUMO・電力の合同チームによる全国行脚

- 国・NUMO・電力の合同チームを地域ブロックごとに新設。2023年7月から、全国の地方公共団体等を個別に訪問する全国行脚を開始。
- 2024年3月末時点で、102自治体の市町村長を訪問。目標の年度内100自治体を達成。
- 2024年度も100自治体を目指し、全国行脚を継続します。

**NUMOでは、全国のできるだけ多くの地域で、地層処分事業に関心を持っていただき、文献調査を受け入れていただけるよう、引き続き取り組んでまいります！**